

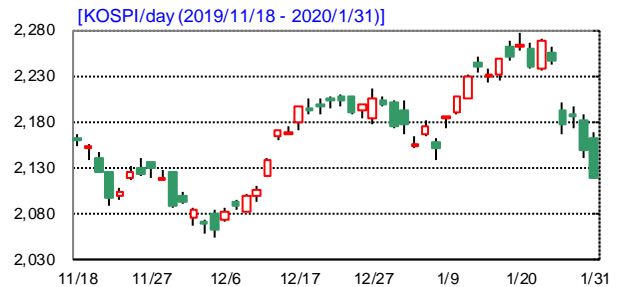


【韓国】 総合指数は 5.7%安と大幅に続落、今週も新型肺炎が懸念材料か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 5.7%安と大幅に続落。旧正月で 1 月 27 日が休場のため 4 日間の立ち会い。中国での新型肺炎の感染拡大を嫌気して売り優勢の展開となり、小反発した 29 日を除いた 3 日間は大きく下落した。連休明けの 28 日は 3% 超の下げとなり、下落率は約 1 年 3 カ月ぶりの大きさ。新型肺炎による企業活動や消費への影響が懸念され、ハイテク株に加え、小売り、観光などが売られた。週後半の 30-31 日は大幅に続落し、12 月 11 日以来、約 1 カ月半ぶりの安値を更新して終えた。サムスン電子の決算の予想下振れや韓国国内で初めて新型肺炎の 2 次感染が判明したことがなどが売り材料。今週も新型肺炎が懸念材料で、国内での感染が拡大すれば一段安の可能性もある。経済指標では製造業 PMI や CPI が発表される。

▼指数チャート

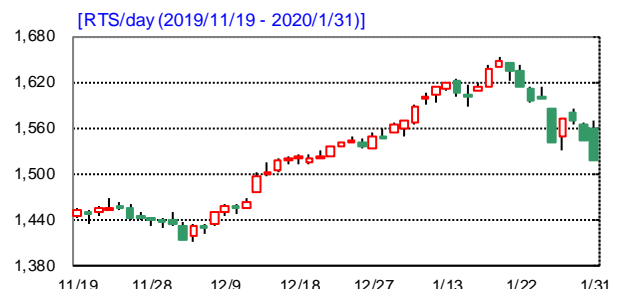


【ロシア】 RTS 指数は 5.2%安と大幅続落、今週も新型肺炎への警戒感が重しか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 5.2%安と大幅に続落。中国発の新型肺炎の感染拡大が世界経済の成長を押し下げるとの警戒感で週初に大幅安が始まると、原油安を受けたエネルギー株の下落も重しとなり、週後半に下げ幅を広げた。昨秋からの大幅高で高値警戒感が意識される中、新型肺炎の感染拡大が世界経済に及ぼす悪影響への警戒感でリスク回避が強まった。原油安も嫌気され、RTS 指数は 27 日に前営業日比で 3.6%安。28 日は反発したが、週後半に連日で 2%近く下落し、31 日は 12 月 13 日以来の安値で引けた。個別ではズベルバンク・オブ・ロシアが 5.0%安となったほか、原油安が嫌気されガスプロム、タトネフチ、スルグトネフテガスが 4%超下落した。今週は新型肺炎による世界経済の減速懸念が引き続き重しとなるか。

▼指数チャート



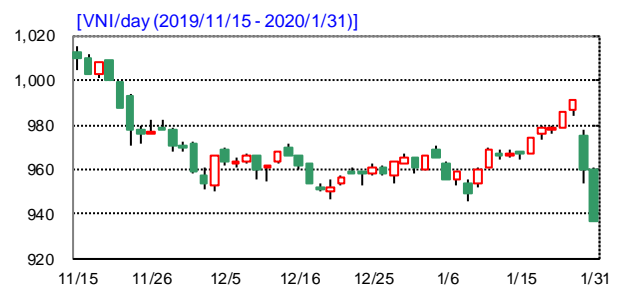
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 5.5%安と 6 週ぶり大幅反落 今週も軟調な展開か

開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 5.5%安と 6 週ぶりに大幅反落。新型肺炎の感染拡大が世界的な景気減速を招くとの観測が強まり、指数は昨年 2 月以来の水準に下落した。先週は 27-29 日が休場で 2 日間のみの取引。中国発の新型肺炎の感染拡大への警戒感で連休明けの 30 日の取引では指数が前営業日比 3.2%安と大幅安でスタート。31 日も新型肺炎による死者数が 200 人を上回ったと報じられたことで売り優勢の展開が続き、指数は 991.46 ポイントと昨年 2 月 11 日以来の安値で終えた。個別ではベトジェット航空が 11.1%安、ビナミルクが 10.6%で、ペトロベトナム・ガス、サイゴンビール・アルコール飲料、ベトナム投資開発銀行が 7-8%台の下落となった。今週も新型肺炎の感染拡大が世界経済に悪影響を及ぼすとの警戒感が重しか。

▼指数チャート

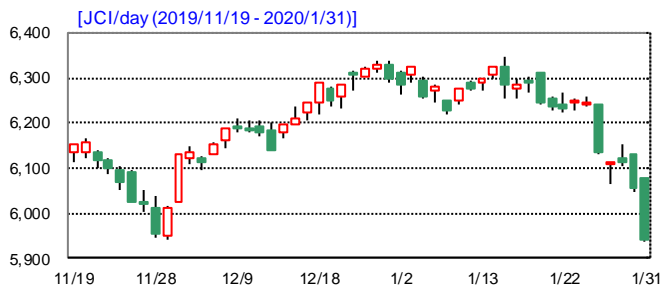


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 4.9%安、今週は 5 日に 19 年 10-12 月期の GDP 発表

ジャカルタ総合指数は週間で 4.9%安と続落。1 月月間では 5.7%安。先週は国内の重要イベントが少ない中、新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大が指数を押し下げた。週初の 27 日は前営業日比 1.8%安と続落。29 日は小幅ながら 4 日ぶりに反発したものの、30 日に反落すると、31 日は世界保健機関 (WHO) が緊急事態を宣言した影響で前日比 1.9%下落し、終値で約 8 カ月ぶりの安値を更新して引けた。今週は 3 日の 1 月の CPI に続き、5 日には 19 年 10-12 月期の GDP が発表される予定。世界的な株安が続く中、19 年通年の GDP 成長率が市場予想の 5.1%を上回れば、株式相場の支援材料になりそうだ。

▼指数チャート

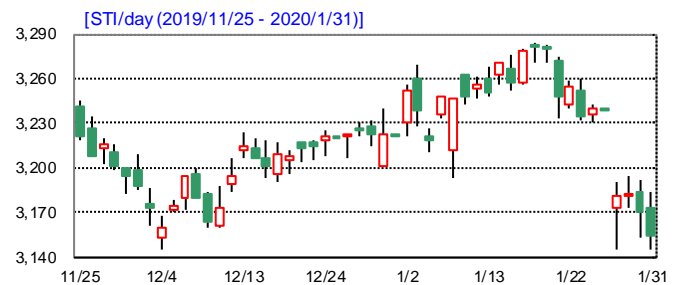


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 2.7%安、今週は 1 月の製造業 PMI が焦点

スレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 2.7%安と続落。1 月月間では 2.1%安。先週は 1 週間を通じて 3200 ポイントを下回る水準で推移した。連休明けの 28 日は、前日に貿易産業相が新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大が国内経済に影響するとの見解を示したことに加え、中国の海外への団体旅行禁止も痛手となり、指数は前営業日比 1.8%安と反落。29 日は小幅に反発したが、週後半は続落して取引を終えた。今週は 3 日の取引終了後に 1 月の製造業 PMI が発表される予定で、前月に続き 2 カ月連続で 50 ポイントを超えるかが焦点。3 日に取引を再開する中国本土市場の値動きも指数を左右しそうだ。

▼指数チャート

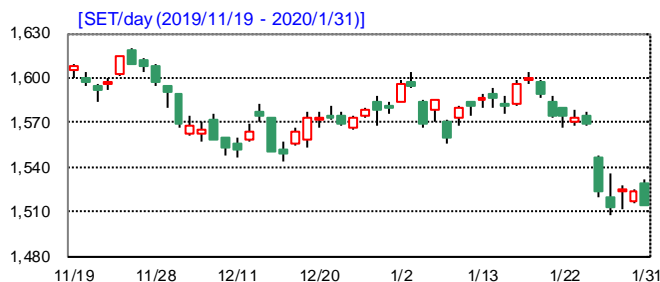


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 3.5%安、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催

SET 指数は週間で 3.5%安と続落。1 月月間では 4.2%安。先週は週初の下落が痛手だった。27 日は中国政府が海外への団体旅行を禁止した影響でタイ空港公社が売り込まれ、指数は終値で前営業日比 2.9%安と 6 営業日続落。29 日は財務省が 20 年の経済成長率見通しを 19 年 10 月時点での 3.3%から 2.8%に下方修正したものの影響は軽微で、値ごろ感のある銘柄が買い戻されて 8 日ぶりに反発した。ただ、週後半はじりじりと下値を広げ、31 日は終値で 3 年 1 カ月ぶりの安値を更新して取引を終えている。今週は 5 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催するほか、6 日には 1 月の CPI が発表される予定。

▼指数チャート

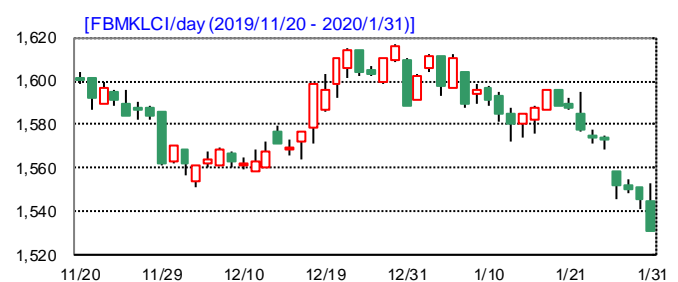


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.7%安、31 日に 8 年ぶりの安値更新

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 2.7%安と続落。1 月月間では 3.6%安。先週は週末まで 9 営業日続落と軟調だった。連休明けの 28 日は、ゴム手袋メーカーのほか IHH ヘルスケアが買われた一方、マレーシア・エアポートの大幅下落が響き、指数は終値で前営業日比 1.3%安。その後も買い材料に乏しく売り優勢の展開が続き、31 日には 8 年ぶりの安値を更新した。今週は 4 日の 19 年 12 月の貿易統計に続き、7 日には鉱工業生産が発表される予定で、内容が市場予想を上回れば株式相場の下支え材料になるか。マレーシアでも感染者が確認されている新型コロナウイルス関連の動向も引き続き注目される。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。